

平成29年度豊かなむらづくり全国表彰事業 東海ブロック受賞地区の概要

【農林水産大臣賞】 上ノ村環境保全プロジェクト（三重県津市）

～ 「人」と「農」を核に村をデザイン ～

1 むらづくりの動機、背景、経緯

上ノ村地区は、農業者の高齢化等による農道・用排水路等の管理困難、獣害による農作物被害の増加で、農業離れによる遊休農地の増加等が課題となっていた。こうした中、田んぼを守り、地区の全住民による地域づくりを目指し、平成21年に「農地・水・環境保全向上対策」に取り組む「上ノ村環境保全プロジェクト」（通称「KKP」）を設立した。

2 むらづくりの内容（農業生産、流通面の取組）

(1) 獣害防止による生産基盤の確立

KKPでは、獣害対策として丁寧な合意形成のもと、全住民参加で8kmの侵入防止柵を設置し、柵の管理と害獣の捕獲に取り組んだ結果、農作物の被害が大幅に減少し、安心して農業生産に取り組める基盤が確立された。



侵入防止柵の管理作業

(2) 担い手の確保と農地の集積

KKPの活動で、獣害対策や用排水路等の維持管理の負担が軽減されたことで、地区内唯一の担い手農家の後継ぎが転職して自家就農し、農地の集積が倍増している。

(3) 農地を守る取組

KKPでは、規模拡大等による収益の向上だけでなく、様々な取組を組み合わせた「身の丈にあった活動」により、農地を守り継続的な農業生産を可能としている。学生や企業と連携した活動など様々な取組により、1.3haを超える遊休農地を復活させている。

3 むらづくりの内容（生活・環境整備面の取組）

(1) 農村環境保全の取組

KKPでは、地区ごとに関係者が参加して、地区内の水路等の補修作業、施設の共同点検作業などの生活環境保全活動を行っており、美しい農村環境及び営農環境が維持されている。



まめっこの活動

(2) 地域活動の強化、交流等の取組

① 上ノ村縁結びプロジェクト

上ノ村では、三重大学の学生との交流活動を行っており、休耕田の復活、獣害対策、農業機械の再生利用、情報発信、集会所のピザ窯作りなどに取り組んでいる。また、本プロジェクトで活動している学生1名が移住を予定している。

② 村のレストランの開催

KKPの呼びかけで、料理の得意な女性が地区の集会場で「村のレストラン」の取組を開始した。開催日には地区内外から30～40人の利用があり、メニューには地元産の米や野菜、ジビエなどを活用している。地域活動の後にも開催され交流の拠点となっている。

③ 活動の場づくりの推進（この指とまれ！で自由に活動を立ち上げ）

KKPでは、主体的な活動のきっかけや場づくりを推進している。KKPの活動に参加し、「食」と「農」に関心を持った母親達が「まめっこ」を結成、休耕田を活用した大豆栽培を行ない、味噌や豆腐等の加工も行っている。このような取組の中で、子供たちの自発的な活動も見られるようになり、また、地域に大きな投資がなくとも「主体的な取組」を行う活動主体が多いことが、活動の継続に大きな成果を上げている。